学校番号	T3010

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	社会一般	単位数	１単位	年次	１年から４年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目では社会の重要な事柄を基礎から学びます。高校で学ぶ社会科の修得に不安な人は、ぜひ受講してください。内容については、理解できるよう丁寧に講義を行います。基礎を身に着けることで、これから学ぶ社会科の理解度をあげてみましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
地理、歴史、公民分野の基礎的な事柄について理解する。授業で提示する諸資料を効果的に調べまとめる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を、社会的な見方・考え方に着目して着目して多面的・多角的に考察し、社会的な課題について思考・判断したことを自分の言葉で表現する。
【学びに向かう力、人間性等】
社会の重要な事柄を学び、平和で民主的な社会の形成者としての自覚を深める。社会的事象について、学習したことをふまえ、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地理、歴史、公民分野の基礎的な事柄について理解できる。 授業で提示する諸資料を効果的に調べまとめる技能を身につけている。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を、社会的な見方・考え方に着目して多面的・多角的に考察することができる。 社会的な課題について思考・判断したことを自分の言葉で表現できる。	社会の重要な事柄を学び、平和で民主的な社会の形成者としての自覚を深めることができる。 社会的事象について、学習したことをふまえ、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	地理的分野	・地球のすがた ・世界と日本のすがた ・世界と日本の地形・気候 ・世界の自然環境	a:世界と日本の地理の基本的な事柄について理解し、知識が身についている。 b:地理の基本的な事柄について考察し、適切に表現できる。 C:地理の基本的な事柄を学ぶ意義について考え、それらについて関心を持ち、主体的に学習に取り組んでいる。	小テスト 定期考査	定期考査 授業内課題	提出物 振り返りシート
二学期	歴史的分野	・時代の区分 ・世界の文明 ・縄文時代から安土桃山時代 ・江戸時代～現在	a:日本を中心とした歴史の基本的な事柄について理解し、知識が身についている。 b:歴史の基本的な事柄について考察し、適切に表現できる。 c:歴史の基本的な事柄について考え、それらについて関心を持ち、主体的に学習に取り組んでいる。	小テスト 定期考査	定期考査 授業内課題	提出物 振り返りシート
三学期	公民的分野	・わたしたちと日本国憲法 ・わたしたちと政治・経済 ・わたしたちと国際社会 ・わたしたちと現代社会	a:政治・経済の基本的な事柄について理解し、知識が身についている。 b:政治・経済の基本的な事柄について考察し、適切に表現できる。 c:政治・経済の基本的な事柄を学ぶ意義について考え、それらについて関心を持ち、主体的に学習に取り組んでいる。	小テスト 定期考査	定期考査 授業内課題	提出物 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度